

伊丹市議会議員 **おおつる 求** の活動報告

# みんなちがって、 みんないい



「水平社宣言」から100年。今も続く差別。

## 同和問題をはじめ、様々な人権問題解決へ啓発を推進

「差別を許さない都市宣言」の街として市長が決意を答弁

### 「人の世に熱あれ、人間に光あれ」

1922年3月、被差別部落の人々が部落差別解放を目指して設立した「全国水平社」。

その創立大会で読み上げられた「水平社宣言」は、日本初の人権宣言ともいわれる。

あれから100年。依然と続く結婚差別・土地差別調査等のほか、近年ではインターネット上に同和地区の差別を煽る映像や、差別むき出しの情報が氾濫するなど、残念ながら部落差別は存在している。この現状をどう捉え、対応しようと考えているのか。市長に質問した。

### 【市長答弁概要・抜粋】

同和問題は本市における重要な人権課題のひとつ。あからさまな差別事象は減少していると捉えているが市民意識調査をみると、結婚差別につながる意識がいまだに見受けられる。

ネット上で、意図的に差別を助長する内容を書き込み拡散させる事象が発生していることは非常に遺憾だ。「差別を許さない都市宣言」(右参照)の街として同和問題をはじめ、様々な人権問題解決に向けた教育・啓発を推進していく。

### 差別を許さない都市宣言(1975年)

「部落差別の解消は、行政の責務であり、同時に国民の課題」であり、「同和問題の解決を行政の最重点施策」と位置付け、「部落差別をはじめとするいっさいの差別に終止符を打ち、明るく住みよいまちづくりを推進するため“差別を許さない都市”とすることを宣言する」と結ばれている。



### 人権問題解決を推進するために人員・財源の確保を

女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、性的少数者、感染症……。当事者に寄り添い、課題解消への取組みをおこなうには、担当部署への適切な人員・財源を確保し、市民と共に活動していくことが必要、と要望した。多様な価値観が尊重され、誰もが自分らしく暮らせる街を創るため、今後も努力を続けていきたい。

## 3月議会 アレコレ

2022年度予算案や議案に対し、様々な質疑や要望があった3月議会。その中で身近な話題をピックアップ。

お伝えしたい  
色々なこと



### 電気バス車両を試験導入



市営バスを運営する交通局が、電気バス車両2台を試験導入する。2年間、実際に市内バス路線を走りながらデータを取得し、車両メーカー・電力会社と連携して分析。車両性能の検証や本格導入に向けた設備など課題抽出をおこない、今後につなげていく。

### 子どもの医療費 中学生まで通院費無料に

遅まきながら、本市も中学生までの通院費が、7月から無償化となる。ただ所得制限（保護者の市町村民税所得税額23.5万円）は維持するため、約7,200人（約25%）の子どもは対象外となることに。市の試算では、所得制限を撤廃し、すべての中学生までの子を対象にすると、約2億3千5百万円が追加で必要とのこと。悩ましい問題だ。

2022年7月から



但し所得制限<sup>①</sup>

### 演劇文化はどこへ行くのか



今年度から主に貸館事業へと方向転換する市立演劇ホール（アイホール）。正規職員4名が1名に、専門家3名が1名となり、指定管理委託料（運営費）は年間5,476万円。昨年度と比べて約3,300万円削減された。市の文化施策だが、この体制で上手くいかなければ指定管理者と「演劇界」の責任、という理不尽な構図。文化施策とは何なのか、私達が問われている。

### 児童クラブの充実と保護者負担増

無線LAN整備や入退室管理システム、連絡帳ITC化等の環境整備に加え、阪神間最低ランクである児童クラブ支援員の処遇改善は喫緊の課題だ。また長期休業中の昼食提供事業（希望制）は、次の夏休みに一食350円で5日間試験導入。2023年3月の春休みから本格導入を目指す。一方、2023年4月から育成料が月額8,000円（1,800円増）、延長料金は19時まで3,000円へと改定される。保護者の負担増加になるため、所得減免制度の拡充が今後の課題となっている。



## 不登校児童・生徒への学習保障



コロナ禍もあり、2020年度末の不登校児童・生徒数は、小学校109名（前年度比1.9倍）、中学校207名（前年度比1.5倍）と増加した。そこで市は、オンラインを活用した学習支援や、不登校対策支援員の配置をおこなっている。また不登校児童・生徒の教育支援センター「やまびこ」の対象児童を全学年に拡充し、学習保障に努めている。

## せっかく良いモノがあっても・・・

- ①市は障がいのある方が受けられるサービスを「福祉の手引き」にまとめ、視覚に障がいがある方向けに“音訳版CD”を作成しているが、CDは2週間の貸出制。当事者から「必要な時に手元になくて使えない」との声を受け、今後は必要な方へ冊子と“音訳版CD”をセットで配布することになった。
- ②阪急・JR伊丹駅周辺に設置されている音声誘導装置は、白杖に専用の磁気テープを付けないと反応しないが、白杖使用者全員に磁気テープを配布していないことが分かった。今後、必要な方すべてに配布する、という。



**10市町解散で合意**  
 丹波少年自然の家 運営組合  
 負担額で決裂  
 阪神、丹波地域の10市町（市町は7日、西宮市内で  
 でつくる事務組合が運営 長会を聞き、組合を解散  
 し、小学生の自然学校に利 するとして合意した。  
 用されている丹波少年自然 2023年3月に尼崎市  
 の家（丹波市）を巡り、10が脱退するため、残る市町

【2月4日神戸新聞】

## 自前施設が無い本市への影響は大きい

構成市の負担金算出方法で協議が決裂したため、丹波少年自然の家（丹波市）を運営する事務組合が解散することになった。市内小学5年生の多くが丹波少年自然の家を使って自然学校（4泊5日）を行っているだけに、影響も大きく、新たな受け入れ先の確保が喫緊の課題だ。「場所が変わっても保護者負担が大きく変わることは無い」、と教育委員会。

## パイプオルガンが海を渡る

姉妹都市ベルギー・ハッセルト市のメーカーに依頼し、オーダーメイドのパイプオルガンを高齢者福祉施設「サンシティーホール」に設置したのが約30年前。無料コンサート等で活躍したが、2年前に維持費の関係で市はパイプオルガン事業を廃止。無償譲渡先を探していた。

この度、ベトナムの首都ハノイで最も歴史があるハノイカテドラル聖ヨセフ大聖堂から申込みがあり、譲渡が決まった。なお、解体・搬送・設置等にかかる経費約2300万円は大聖堂側が負担する、という。



フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- どんな理由があろうとも武力行使に反対します  
阪急伊丹駅前でスタンディング行動
- 社会民主党第19回定期全国大会  
来賓の方々と福島党首が連帯のグータッチ
- 会派控室で「3・25世界気候アクション」
- 第3次狭山事件の再審を!関西キャラバン(JR 伊丹)



「グリーン戦略室」を設置

2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す」と表明した国の動きに合わせ、第3次伊丹市環境基本計画見直し、及び「次期伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」策定をおこなう。また本市環境施策の司令塔役を担う「グリーン戦略室」を設置した。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ  
伊丹市議会議員 おおつる 求

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。  
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(前宝塚市長)秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■2015年の市議選に社民党公認で当選。2019年に再選、2期目 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- 阪神・淡路大震災から27年。今年は子どもと昆陽池公園でロウソク灯す。
- 名曲「イマジン」を流しながら駅前でスタンディング行動。まず早期停戦を。
- 女医、女子アナ：その「女」必要？「失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック」。現役記者がまとめた一冊。
- 高次脳機能障害と現代社会、そして三池炭鉱CO爆発の後遺症を追った映画「いのち見つめて」。4月劇場公開。
- 2年連続中止した自治会の夏祭り。今年は開催できるのか、頭をひねる春。
- 東京・国立の「表現の不自由展」開催が全国ニュースになる「不自由社会」。
- 長年、伊丹マダン実行委員長として活躍した方政雄さんが、在日コリアンとして「くすぶった思い」を書いた短編小説集「白い木槿(むくげ)」を出版。
- ロシアによるウクライナへの武力行使を悪用し、一部の政治家が「核共有の議論を始めるべき」と発言する危うさ。
- 伊丹市議2期目の最終年が始まる。